

漢法苞徳塾資料	No. 116
区分	疾病論・病因
タイトル	積聚の治療をめぐる――穴性や配穴などの研究――
著者	八木素萌
作成日	1995.01.15

## ◎積聚治療の参考・配穴や穴性など

## 甲乙経

陽維脈…（兪血）…金門・陽交・臑兪・天髎・肩井・風池・瘰癧門・風府・腦空・承靈・正宮・目窓・臨泣・陽白・本神

陰維脈…（兪血）…築賓・衝門・府舎・大横・腹哀・期門・天突・廉泉

陽蹻脈…（兪血）…申脈・僕参・跗陽・居髎・地倉・巨髎・承泣・精明

陰蹻脈…（兪血）…照海・交信・精明

帶脈……（兪血）…帶脈・五枢・維道

衝脈……（兪血）…会陰・横骨・大赫・氣穴・四滿・中注・肓兪・商曲・石関・陰都・通谷・幽門

督脈……（兪血）…長強～氣短・尻瀆。瀆。

下脘～飲食不下・膈咽不通・邪在胃脘……在下脘則散而去之。

また飲食不下・入腹還出。

任脈……（兪血）…会陰・曲骨・中極・関元・石門・氣海・陰交・神闕・水分・下脘・建里・中脘・上脘・巨闕・鳩尾・中庭・膻中・玉堂・紫宮・華蓋・璇璣・天突・廉泉・承漿

会陰～陰中諸病・前後相引痛・不得大小便。また男子陰端寒・上衝心中很々。

（附方：痺。会陰・及太淵・消貳・照海主之）

曲骨～膀胱脹・主之。また小便難・水脹滿・溺出少・転胞不得溺・主之。

また婦人赤白沃（千金：外台：下赤白沃後）・陰中乾痛・悪合陰陽・少腹膜堅・小便閉・主之。

中極～臍下疝蟻臍痛・衝胸不得息。また賁豚上搶心・甚則不得息・忽忽少氣・尸厥・心煩痛・飢不能食・善寒中腹脹・引脇而痛・小腹与脊相控暴痛・時寤之後。また女子禁中痒・腹熱痛・乳余疾・絶子。内不足・子門不端・少腹苦寒・陰痒及痛・経閉不通。また丈夫失精。

関元～

石門～

気海～

陰交～

神闕～

水分～

下脘～

建里～心痛上搶真・不欲食・支痛引膈。

水分～痘・脊強拘急痛。

中脘～腹脹不通・寒中傷飽・食飲不下。また心痛身寒・難以俯仰・心疝衝胃・死不知人。また小腸有熱・溺赤黄。また溢飲脇下堅痛。また胃脹者・中脘主之・亦取章門。

上脘～寒中傷飽・食飲不下・五臟膜脹・心腹胸脇支滿脹・心下有膈・嘔血。

巨闕～熱病胸中澹々・腹滿暴痛・恍惚不知人・手清・少腹滿（千金・作・心腹）・癰疽・心痛・氣滿不得息。また息賁時唾血。また胸脇支滿・癰疽・引臍腹痛・短氣煩滿。また狐疝驚悸少氣。（附方－霍乱：巨闕・関衝・支溝・公孫・解溪主之〈千金：又取 陰陵泉〉）

中庭～胸脇支滿・膈塞飲食不下・嘔吐食覆出。